

報道関係各位

2011年11月7日
さくらインターネット株式会社
(東証マザーズ：3778)

**さくらインターネット、2011年11月15日に石狩データセンターを開所
～外気冷房の活用により PUE1.11 を実現し日本の IT コストを世界標準へ～**

国内最大級のバックボーンネットワークを有しインターネットデータセンター事業を運営するさくらインターネット株式会社（本社：大阪府中央区、代表取締役社長：田中 邦裕）は、2011年3月より北海道石狩市に建設を進めておりました石狩データセンターを竣工し、2011年11月15日に開所いたします。

石狩データセンターは、クラウドコンピューティングに最適化された日本最大級の郊外型大規模データセンターで、北海道の冷涼外気を活用した外気冷房によるエネルギー効率の向上、建物から設備にいたるまでの徹底したモジュール設計による柔軟性、そして東京ドームの約1.1倍という広大な敷地によるスケールメリットにより、圧倒的なコスト競争力を実現します。

石狩データセンターは、北海道の冷涼な気候を活用した外気冷房により、ほぼ通年でサーバールームの外気冷房が可能です。データセンターのエネルギー効率をあらわす指標であるPUE*は、通常外気冷房のみで1.11、夏季に従来型の空調運転をおこなった場合でも1.21を実現します。また、外気冷房により空調コストは約4割削減できる見込みです。

東京ドームの約1.1倍という広大な敷地に、1棟あたり最大500ラックまで対応できる分棟式の建物を、最終的には8棟最大4,000ラックまで増設する予定です。なお、開所時には、2棟分を建設し、サーバラックを200ラック設置します。データセンター自体を分棟式とすることで、当初から大規模な建物を建設する必要がなく、需要動向に応じた拡張が可能です。サーバールームは100ラック毎のモジュール設計で、非常用発電機やUPS（無停電電源装置）もサーバールームごとに設置するモジュール型です。これらは、建物と同様に需要動向に応じた拡張が可能であり、その時々最新の技術を採用することができます。

当社は、大規模な敷地によるスケールメリット、北海道の冷涼な外気を活用した外気冷房の導入により、圧倒的な低コストを実現し日本のITコストを世界標準へ押し下げることを目指します。

※PUE（Power Usage Effectiveness）とは、データセンターのエネルギー効率をあらわす指標の1つ。値が1.0に近づくほど効率がよい。一般的に、値が2.0を切ると効率がよいとされる。

<石狩データセンター外観>



<石狩データセンター概要>

施設名	石狩データセンター
建設地	北海道石狩市
敷地面積	51,448 m ²
建築面積	7,091 m ² ※1
延床面積	11,392 m ² ※1
建物構造	地上2階建・鉄骨造
ラック数	1,000 ラック ※2
受電電圧	66,000V (特別高圧)
供給電力	標準 8kVA/ラック (最大 15kVA/ラック)
床荷重	1,000kg/m ²
設計施工	大成建設株式会社
開所日	2011年11月15日

※1 2棟の合計面積。

※2 2棟の最大ラック数。最終8棟で最大4,000ラック。

<石狩データセンター記者発表会のご案内>

報道関係者向けに、2011年11月15日、石狩データセンターで記者発表会を開催します。記者発表会では、当社代表取締役 社長 田中 邦裕より石狩データセンターについてご説明いたします。同日は、サールームや空調設備などをご覧いただける内覧会も開催します。参加を希望される際は、当社広報宣伝室までメール (press-ml@sakura.ad.jp) またはお電話 (03-5332-7072) にてご連絡ください。

●記者発表会

- ・日時 2011年11月15日(火)12時30分～13時15分
- ・場所 石狩データセンター (北海道石狩市)
 ※当日は、札幌駅⇄石狩データセンターの送迎バス(無料)をご用意しております。
 ※内覧会は、記者発表会終了後に開催します。
 ※記者発表会は、報道関係者のみを対象とするものであり、一般の方には申し込み頂けませんので予めご了承ください。

以上

■さくらインターネット株式会社

本社：大阪市中央区南本町1丁目8番14号

設立：1999年8月17日 従業員：178名 (平成23年10月末現在)

資本金：8億9530万円 売上高：85億8438万円 (平成23年3月期)

■この報道資料の問い合わせ先：

さくらインターネット株式会社 広報宣伝室

TEL：03-5332-7072 FAX:03-5332-7080 E-mail：press-ml@sakura.ad.jp